

# キラットさん

BE AMBITIOUS

大館商業高校 3年

小林純子さん



今回のキラットさんは、十一月の全国商業高校英語スピーチコンテスト秋田県予選大会スピーチの部で去年に続き優勝し、本大会への出場権を得た小林さんです。本大会に二年連続出場というのは、なかなか大変で、あまり例のないことだそうです。

小林さんが英語スピーチを始めたのは、英語担当の小林先生の強い勧めがあったからだそうです。先生は、授業で小林さんの英語の発音の美しさにうたれ、懸命のラブコール。ソフトテニス部の練習などで忙しかった小林さんは、そのつど断ってききました。ただ、英語は好きな科目でもあり、二年生のときに引き受けたそうです。スピーチコンテストのスピーチの部は、自作の文章を発表するのだそうです。小林さんが発表用の

文章を作るときは、まず、自分で日本語の文を考え、それを先生が英文に訳してくれます。そして、話し方や発音は、英語指導助手のクリスタさんから指導を受けています。この恵まれた環境と本人の努力で、小林さんはめきめきと力をつけました。英語スピーチの難しさを聞きましたら、「特に苦勞するのは英文の暗記です。日本語を思い出しながら、英文を細かく区切って覚えていきます」と語ってくれました。

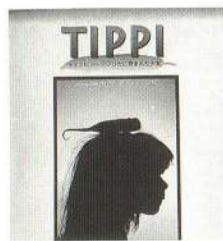
小林さんの長所は、とにかく元気があることで、友達をいつも笑わせているとか。小林先生も「彼女は神経質なんて言っていますが、そうは見えないですよ。いつも元気で、度胸のある子です」と話してくれました。卒業後の進路は、活動的な自分に向いている婦人自衛官を目指すそうです。そして、将来は、できるだけ多くの国を訪れ、その国の人と交流を深めたいそうです。

小林さんは、来年一月十五日に東京で行われる全国商業高校英語スピーチコンテストに出場します。「去年は最終選考の十二人に残りましたが、入賞できませんでしたが、今年はそれより上を目指します」とのことでしたが、その表情からは自信あり、といった様子が見取れました。高校生活の楽しい思い出になるように、小林さん、ファイトです！



## 私の本棚

中央図書館新着図書



『TIPPI』

写真 アラン・ドゥグレほか  
映像文化センター

アフリカで生まれたフランス人の女の子ティッピ。彼女の最初の友だちは二十八歳年上のアフリカ象でした。野生の動物たちとすぐ仲良しになれる不思議な能力を持つ少女を、その父母が撮った愛情あふれる写真の数々。アフリカの友だちと戯れる純粋なティッピの姿が、いつまでも暖かく読む人の心に残る写真集です。

### 一般書

- ◇羊ゲーム(本岡類) ◇DIPブリッジ・テープ(沙藤一樹) ◇幸福の選択(佐江衆一) ◇黒い家(貴志祐介) ◇翼(村山由佳) ◇東征伝(黒岩重吾) ◇ターン(北村薫) ◇はみ出し銀行マンの倒産日記(横田濱夫) ◇嘘(藤堂志津子) ◇風の行方上、下(佐藤愛子) ◇天空の橋(澤田ふじ子) ◇すっぴん魂(室井滋) ◇見なれた町に風が吹く(山田太二) ◇消える本屋(山田淳夫) ◇小粋な失恋(内館牧子) ◇小早川隆景(野村敏雄) ◇なんでもない話(青木玉) ◇屋久島海(屋比久壮実) ◇破線のマリス(野沢尚) ◇鎮魂歌(馳星周) ◇樹下の想い(藤田宜永) ◇猫の贈り物(リー・W・ラトリッジ) ◇クロロンの祭壇(ピーター・ゴールズワージー) ◇サンルテグジュベリの生涯(ステイシー・シフ) ◇インテンシティ上、下(ディーン・クーンツ) ほか
- ◇ほくのおにいちゃん(星川ひろ子) ◇かいぞくポケット17こおったポケット(寺村輝夫) ◇ざわざわ森のがんこちゃんあたらしいおともだち(末吉暁子) ◇ハナクツ太郎のぼうけん(舟崎克彦) ◇友だちじゃないか(上條さなえ) ◇モンブチ人形のぼうけん旅行(舟崎克彦) ◇ミラクル・ファミリア(柏葉幸子) ほか

### テーマ関連図書コーナー

親子読みかかせ会・・・12月5日(金) 14時30分

中央図書館の休館日・・・12月21日、23日、25日、29日、30日、31日